

# DUOリーグのあゆみ(1996~2014)

2015.5.5.

## 1996 DUOリーグ発足

- 前期 10チーム／1リーグ制でスタート 優勝:京華高  
4~7月 加盟クラブ:昭和一(3) 筑波大附(2) 都小石川(2) 京華 都向丘 三菱養和SC  
試合会場:筑波大附 小石川 (三菱養和)
- 後期 16チーム／2リーグ制(変則1部、2部制) 優勝:三菱養和SC  
9~12月 新規加盟:学習院高等科 豊南高校 文京区中学生選抜  
1部は各クラブの代表チーム／2部はその他のチーム(特別枠選手制度導入)  
試合会場:筑波大附 小石川 学習院 (三菱養和)  
・文京区中3選抜が参加。以後、後期のみ参加する  
・筑波大附と京華の2軍が連合軍で参加  
・特別枠選手(19歳以上)は3名まで可→OBの活動の場となる  
・大会参加費を徴収(1チームにつき15,000円)

## 1997 より良いサッカー環境を構築し、全国へ情報発信する

- 前期 18チーム／2リーグ制(変則1部、2部制) 優勝:昭和一高A  
4~7月 新規加盟:本郷高校  
1部は各クラブの代表チーム／2部はその他のチーム(特別枠選手制度導入)  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 (三菱養和)
- 後期 15チーム／2リーグ制 優勝:三菱養和SC  
9~12月 均等に2つに分けてリーグ戦／両リーグの1位同士がチャンピオンシップ  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 (三菱養和)

## 1998 ①普遍性の追求＝どこでもできるようにシステム化

### ②DUOリーグの発展＝より良いサッカー環境の構築

- 前期 16チーム／2リーグ制 優勝:都小石川高A  
4~7月 均等に2つに分けてリーグ戦。両リーグの同順位同士が順位決定戦。今回の順位により、後期から1部、2部制導入  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 (三菱養和)
- 後期 20チーム／1部、2部制 優勝:三菱養和SC  
9~12月 新規加盟:城西高校 豊島学院高校  
1部8チーム／2部は均等に2つのリーグに分け、同順位同士が順位決定戦  
1部下位3チームと2部上位3チームは入れ替え(3位同士は入れ替え戦)  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 (三菱養和) 茨城県波崎町

## 1999 ①レベルに応じた環境づくりー入れ替え制度

### ②リーグ単位の自主運営制度

- 前期 20チーム／1部、2部制 優勝:都小石川高A  
4~7月 1部8チーム／2部は6チームずつ均等に2つのリーグに分け、同順位同士が順位決定戦  
1部下位3チームと2部上位3チームは入れ替え(3位同士は入れ替え戦)  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 学習院 三菱養和他
- 後期 24チーム／1部、2部制 優勝:都小石川高A  
9~12月 新規加盟:郁文館高校 豊島区中学生選抜(後期のみ)  
リーグ編成・競技会規定は前期と同様  
試合会場:筑波大附 小石川 本郷 三菱養和 茨城県波崎町他

## 2000 2001年度より「東京都ユースサッカーリーグ」を創設すべく行動を開始する

- ①リーグ戦プログラムをつくる
- ②前期に「フレッシュマンリーグ」をつくり1年生の受け皿とする
- ③審判講習会を開催する
- ④DUOリーグ選抜の活動を行う
- ⑤業務の統合と分担を進める

- 前期 20チーム／1部、2部制 1999年度と同様 優勝:三菱養和SC  
4~7月
- 後期 24チーム／1部、2部制 1999年度と同様 優勝:三菱養和SC  
9~12月 新規加盟:駒込学園

**2001****①東京都ユースサッカーリーグを早期に実現すべく行動を継続する****②DUOリーグ“IT革命”元年とする****③“FCDUO”構想の可能性について検討する**

- 前期 21チーム／1部、2部制 優勝：学習院A  
 4～7月 新規加盟：巣鴨高校 東京大学(Bチーム)  
 1部9チーム(東京大学が1部から参入のため)／2部は6チームずつ均等に2つのリーグに分け、1位同士が2部チャンピオンシップ。1部下位3チームと2部上位2チームが自動入れ替え(後期は1部8チーム)  
 ・試合会場は、筑波大附・小石川・本郷・学習院・京華(さいたま市)・三菱養和に、新たに東京大学農学部グラウンドが加わった  
 ・三宅高校サッカー部員9名が「京華B」としてリーグ期間を通して出場。特別賞受賞
- 後期 26チーム／1部、2部制 優勝：東京大学  
 9～12月 新規加盟：立教池袋高校  
 1部8チーム。下位2チームが自動降格／2部は6チーム×3リーグ。1位同士プレーオフを行い、上位2チームが自動昇格

**2002****1. 組織としてのDUOリーグを確立する****①適材適所の組織改革****②“IT革命”の推進****③“FCDUO”の立ち上げ****④リスクマネジメントの研究と実践****2. 東京都ユースリーグ創設に全力を尽くす**

- 前期 26チーム／1部、2部制 優勝：本郷A  
 4～7月 新規加盟：獨協高校 都立豊島高校(計20クラブ)  
 1部8チーム／2部は6チーム×3リーグ。1位同士がプレーオフを行い、上位2チームが自動昇格  
 ただし、後期リーグに東京大学不参加、2部上位3チームが自動昇格となった  
 ・笹川スポーツ財団の「SSFスポーツエイド」助成事業に  
 ・チェアマン、事業部と管理部に分かれて業務を分担する仕組みになる  
 ・DUOリーグボランティアの誕生  
 ・試合会場は、筑波大附・小石川・本郷・学習院・京華(さいたま市)・三菱養和・東大農学部、新たに都立豊島高校が加わった
- 後期 29チーム／1部、2部制 優勝：三菱養和  
 9～12月 新規加盟：淑徳巣鴨高校(計21クラブ)  
 1部8チーム。下位2チームが自動降格。上位2チームが次年度「上位リーグ」に昇格(予定)  
 2部は7チーム×3リーグ。1位同士プレーオフを行い、数チーム(未定)が自動昇格  
 ・DUOリーグ保険へ全員加入  
 ・DUOリーグトレーナー制度開始。会場にトレーナーが帯同  
 ・DUOリーグ選抜、定期的な活動開始

**2003****“当事者意識”を高め、「DUOリーガー」を、「DUOクラブ」を、「DUOリーグ」を、そして「東京都ユースリーグ」を育てよう！**

- 前期 24チーム／1部、2部制 優勝：本郷B  
 4～7月 新規加盟：なし(計21クラブ)  
 1部8チーム／2部は8チーム×2リーグ。1位同士プレーオフを行い、2チームが自動昇格  
 三菱養和と本郷Aは「PJリーグ(プレ上位リーグ)」で活動  
 ・文京区中学生選抜のOB(高校1年生)が、「A.C.アンマリアトーレ」として前後期とも参加。翌年はチームの主力が母体となるクラブでも中心選手となっていったため、1年間で休止した。  
 ・DUOリーグトレーナー制度本格導入。NPO法人日本スポーツメジンとDUOリーグが契約。クラブごとに所定の手続きを踏めば、専門学校からトレーナー実習生派遣
- 後期 34チーム／1部、2部制 優勝：京華A  
 9～12月 「東京都第2地区リーグ」(東京都1～3部の下位リーグ)としてオフィシャル化(ただしプレ大会)  
 従来の文京区・豊島区に加え、足立区・中央区を含めて再編(1部は10チームの変則開催となった)  
 新規加盟：都竹早・日大豊山・都文京・都足立工・都足立・都江北・足立学園(28クラブ)  
 東京都2部で足立学園・本郷A・三菱養和・小石川が、3部で学習院・日大豊山Aがプレ大会に参加

## 2004 “公認リーグ”のあり方を考えよう！

- 前期 32チーム／1部、2部制 優勝：京華A  
4～7月 新規加盟：都足立新田、カリオカFC足立  
リーグ退会：東京大学…種別の問題等のため2004年度から賛助会員に(これにより計29クラブ)  
1部8チーム。2部は8チーム×3リーグ。1位同士がプレーオフを行い上位2チームが自動昇格  
足立学園・本郷A・三菱養和・小石川(都2部)及び学習院・日大豊山A(都3部)が都リーグ(未公認)に参加
- ・DUOリーグ通信のE-mail送信開始。メーリングリスト誕生。一方でウィルス問題発生
  - ・DUOリーグ初の規律問題。当該選手・審判・チーム・クラブに対して処分と指導を行う。
  - ・公認リーグに関するアンケート調査実施
- 後期 32チーム／1部、2部制 優勝：都豊島A  
9～12月 1部8チーム。2部は8チーム×3リーグ。1位同士がプレーオフを行い上位2チームが自動昇格  
三菱養和・本郷A・日大豊山A・学習院Aは都リーグ参加の可能性があったため後期DUOは不参加  
都江北・都足立新田・カリオカFC足立・豊島区中学生選抜はチーム事情により不参加
- ・レフェリービブスをDUOクラブに支給。着用義務づけ
  - ・DUOリーグボランティアによるホームページ更新業務が定着
  - ・FCDUO創設の気運高まるが、社会人リーグ登録は見合わせ

## 2005 DUOリーグ10周年を成功させよう！

- ①10周年記念行事を成功させよう！
- ②上位リーグを組織しよう！
- ③規約を整え組織を充実させよう！

- 前期 32チーム／1部、2部制 優勝：都小石川A  
4～7月 新規加盟：なし  
リーグ退会：豊島区中学生選抜…2004年度をもってクラブ消滅(これにより計28クラブ)  
1部10チーム(前年度「上位リーグ」参入チームが下りてきたため)  
2部は8チーム+7チーム×2リーグ。1位同士がプレーオフを行い上位2チームが自動昇格  
三菱養和は都リーグ参加のためDUOは不参加。足立学園・本郷Aはトップチーム不参加
- 後期 35チーム／1部、2部制 優勝：学習院A  
9～12月 1部10チーム(1部の上位3チームに、次年度前期の「Eリーグ」昇格権が与えられるため)  
(1部は1月末) 2部は25チーム4リーグ(7・6・6・6)  
2部の各リーグ1位同士がプレーオフを行い上位2チームが自動昇格、3、4位は1部8、7位と入替戦  
(リーグ退会：カリオカFC足立・足立新田高校…クラブ事情による。これにより計26クラブ)
- ・1地区「リバーサイドリーグ」との連携により、次年度より「Eリーグ」発足。
  - ・10周年企画として2月17日にシンポジウム開催。年度末には10周年記念誌発行

## 2006 11年目のリスタート！ 原点に帰ろう！

- ①リーグ単位の自主運営制度導入
- ②Eリーグの発足(DUOの上位リーグとして)
- ③地区リーグ間の連携強化(地区リーグ交流戦の開催)

- 前期 33チーム／E、1部、2部制 E優勝：都城東(リバーサイド) DUO1部優勝：都豊島A  
4～7月 新規加盟：なし  
Eリーグ6チーム(うち3チームがDUO)、1部9チーム、2部は7チーム×3リーグ  
三菱養和はT1、都小石川・足立学園・本郷はT3にも参加
- ・リーグ単位の自主運営制度導入。リーグ責任者を中心に、日程調整から記録集計まで、リーグ単位で行う形
  - ・前期Eリーグにおける、DUO最上位チーム(学習院)が、8月末に「地区リーグ交流戦」に出場
- 後期 35チーム／E、1部、2部制 E優勝：関東一(リバーサイド) DUO1部優勝：都江北A  
9～12月 Eリーグ6チーム(うち3チームがDUO)、1部9チーム、2部は3リーグ(8・8・7)
- ・前期Eリーグにおける、DUO最上位チーム(都豊島A)が、3月末に「地区リーグ交流戦」に出場

## 2007 レベルとニーズにあった受け皿をつくろう！

①レベルにあった受け皿：DUO、E、地区トップ、T、プリンス …

②ニーズにあった受け皿：プレーヤー、レフェリー、コーチ、トレーナー、マネージャー …

- 前期 30チーム／E、1部、2部制 E優勝：都豊島A(DUO) DUO1部優勝：筑波大附  
4～7月 新規加盟：FC西巣鴨03(→計27クラブ)  
Eリーグ6チーム(うち4チームがDUO)、1部8チーム、2部は6チーム×3リーグ  
三菱養和はプリンスリーグ関東、都小石川・足立学園・本郷はT3にも参加  
・新規加盟のFC西巣鴨03は、豊島区の多世代型サッカークラブ。「昇格なし」を条件にリーグ戦に参加
- 後期 27チーム／E、1部、2部制 E優勝：城東B(リバーサイド) DUO1部優勝：学習院  
9～12月 Eリーグ8チーム(うち4チームがDUO)、1部8チーム、2部は2リーグ(8・7)  
・後期からEリーグは8チーム制。上位4チームが、2008年度創設の「地区トップリーグ」に昇格。  
しかし上位4チームはリバーサイドリーグが独占。DUOからは初年度の「地区トップリーグ」に参加できず  
・「DUOリーグのトロフィーがない！」プロジェクト、水面下で進行中

## 2008 トロフィーを、みんなで作ろう！

- 前期 28チーム／E、1部、2部制 E優勝：都葛飾野(リバーサイド) DUO1部優勝：都足立  
4～7月 新規加盟：なし  
Eリーグ8チーム(うち6チームがDUO)、1部8チーム、2部は7チーム×2リーグ  
三菱養和はプリンスリーグ関東、都小石川・足立学園・本郷はT3にも参加  
◆「DUOリーグのトロフィーがない！」プロジェクト開始  
・DUOリーグのロゴ完成。さらにカレンダーを作成し、全DUOリーガーに配布  
・靴みがき&靴解体講習会を開催。トロフィーの素材となる革のピースをDUOリーガーが採取  
・「DUOリーグ・アウォーズ」にてお披露目。  
◆「地区トップリーグU-18東京」開幕。都全域で8チーム×2ブロックのリーグ  
・底辺から東京都全域まで、ユースリーグがつながる(Tリーグとの連結はまだ)
- 後期 30チーム／E、1部、2部制 E優勝：都葛飾野(リバーサイド) DUO1部優勝：都江北  
9～12月 Eリーグ8チーム(うち5チームがDUO)、1部8チーム、2部は8チーム×2リーグ  
・FC西巣鴨03の「昇格なし」という条件は撤廃。  
(リーグ退会：都立足立工業高校…クラブ事情による。これにより計26クラブ)

## 2009 自分のことは自分でしよう！

- 前期 27チーム／E、1部、2部制 E優勝：修徳A(リバーサイド) DUO1部優勝：都足立  
4～7月 新規加盟：なし  
Eリーグ8チーム(うち3チームがDUO)、1部10チーム、2部は7チーム×2リーグ  
三菱養和はプリンスリーグ関東(準優勝)、足立学園・本郷はT2にも参加  
◆「スキンプロジェクト」実施  
・靴みがき講習会を随時開催。サッカーシューズのソールを用いたサンダルづくり、サッカーボールを用いたコインケースづくりもコンテンツに  
・「水都大阪2009」にてスキンプロジェクト実施。関西のTV番組で紹介される(DUOリーグから全国へ)  
◆ホームページをリニューアル
- 後期 34チーム／E、1部、2部制 E優勝：都江北A(DUO) DUO1部優勝：都豊島A  
9～12月 新規加盟：都立荒川商業(→計27クラブ)  
Eリーグ8チーム(うち2チームがDUO)、1部8チーム、2部は8チーム×3リーグ  
・新型インフルエンザの影響で試合延期が相次ぎ、12月末までリーグ期間を延長  
・三菱養和が高円宮杯全日本ユース(U-18)選手権大会で準優勝の快挙！

## 2010 歴史から学ぼう！

- 前期 34チーム／E、1部、2部制 E優勝：都豊島(DUO) DUO1部優勝：学習院  
4～7月 新規加盟：なし  
Eリーグ8チーム(うち2チームがDUO)、1部8チーム、2部は8チーム×3リーグ  
三菱養和はプリンスリーグ関東1部(5位)、足立学園はT2、本郷・都立はT3にも参加
- ◆「スキンプロジェクト」引き続き実施
  - ・靴みがき講習会を随時開催。しかしクラブ間で参加意欲に温度差あり。また素材(履けなくなったシューズや使えなくなったボール)の供給が不足
  - ◆DUOリーグ選抜交流戦の見直し
  - ・夜間に月1回の交流会を企画(実際は天候の関係等でほとんど開催されず)。リーグごとにチームを編成し交流戦を実施。しかしクラブ間で参加意欲に温度差あり
- 後期 32チーム／E、1部、2部制 E優勝：関東一A(リバーサイド) DUO1部優勝：都江北B  
9～12月 新規加盟：なし  
Eリーグ8チーム(うち3チームがDUO)、1部8チーム、2部は7チーム×3リーグ
- ・最後のEリーグ。2011年度からはDUO1部と地区トップリーグが直結。さらにTリーグともつながる。これにともない、シーズンとリーグ編成の問題が浮上
  - ・三菱養和が高円宮杯全日本ユース(U-18)選手権大会で、2年連続ベスト4の快挙！
  - ・東京都におけるU-18フットサル大会(8月&1月)10周年

## 2011 がんばろう、ニッポン！ーサッカーを愛する人にできること

- ◆リーグ構造の再編ー底辺から全国まで
  - ・Eリーグの廃止によってDUOリーグから地区トップリーグまで直接つながったため、1部リーグの構造改革を実施。前期は並列2リーグ制、後期は前期の結果を踏まえて上位・下位に分かれ、後期リーグ優勝チームが昇格権を持つ形にした
  - ・JFAによる「リーグ戦文化の推進」はほぼ完成。頂点には「高円宮杯U-18プレミアリーグ」が東日本と西日本に分かれて通年で、「高円宮杯プリンスリーグ」は9地域ごとに通年で、各都道府県リーグはこれらの下部リーグとして位置づけられた
  - ◆東日本大震災の影響で前期日程変更相次ぐ
  - ・3月11日の大震災の影響による実態を調査。春休み中の活動自粛クラブもあったため、日程調整に難航した
  - ◆スキンプロジェクトを改め「リサイクルプロジェクト」へ
  - ・当初の計画は文字通り「リサイクル」であったが、東日本大震災と原発事故の関係で大幅に計画変更。「靴磨き講習会」を中心に展開することになった。講習会はさまざまな形で開催された。
  - ・プロジェクトの意義、活動への参加意欲についてはクラブ間で温度差あり。
  - ◆技術部による新たな試みーストライカー&GK講習会およびリバーサイドリーグ選抜との交流試合
  - ・各クラブの交流よりも「レベルアップ」を意図した、ポジションごとの講習会を年2回開催
  - ・DUOリーグ選抜チームを編成し、リバーサイドリーグ選抜と夏・冬に交流試合
  - ◆DUOリーグの運営そのものに対する問題噴出ー将来構想プロジェクトの設置へ
  - ・加盟クラブの多様化、引き継ぎの不徹底、“歴史と理念の未理解”と“当事者意識”の欠如などにともない、DUOリーグの運営そのものの不備が噴出。各クラブおよびDUOリーグを取り巻く環境の変化を踏まえ、将来構想を検討すべく、年度末に「将来構想プロジェクト」発足。2012年度中に議論を重ねることになった。
- 前期 32チーム／1部、2部制 1部優勝：都江北A  
4～7月 新規加盟：中央大学高校  
1部8チーム×2リーグ(並列)、2部8チーム×2リーグ。いずれも各リーグ1位同士がチャンピオンシップ  
三菱養和は高円宮杯U-18プレミアリーグEAST(10チーム中8位。残留)→通年  
足立学園はT2(Bブロック8チーム中4位。残留)→4～8月末&順位決定戦  
都立・本郷はT3(Bブロック8チーム中、都立7位、本郷8位であったがともに残留)→4～7月末&順位決定戦
- 後期 37チーム／1部、2部制 1部優勝：学習院  
9～12月 新規加盟：なし  
1部8チーム×2リーグ(上下)、2部7チーム×3リーグ。2部は各リーグ1位同士がチャンピオンシップ
- ・1部は上位を「プレミアリーグ」、下位を「プリンスリーグ」とし、プレミアリーグ1位の学習院が2012年度地区トップリーグへの昇格権を得た
  - ・「サロン2002公開シンポジウムー『高校サッカー90年史』を語ろう！」に後援(2012年3月4日)
  - ・「チャリティサッカー2012@筑波大学附属高校ー南三陸町立歌津中学校招待サッカー」に後援(2012年3月31日)

## 2012 温度差をなくそう！

◆将来構想委員会(全6回)にてDUOリーグのあり方について幅広く議論。DUO会議で以下の方向性が決まった。

①2013年度以降、「上へつながらる」リーグは“前期”のみに行う→FA加盟であればDUO未加盟であっても参加資格を持つ

②“後期”には「上へつながらない」、DUOリーグ独自の競技会を新たに実施する

③組織としての「DUOリーグ規約」を明文化し、メンバーシップを確立する

④2013年度、2014年度のチェアマンを、引き続き「中塚義実」とする(ただしこれがラスト)

・このほか、「個人登録費としてでなく、プログラム代を冊数に応じて徴収する」「DUOの業務遂行に対する謝金をしっかり支払う」「DUOリーグ保険は2012年度を最後に撤廃する」などが決まった。

◆技術部は、指導者講習会(指導実践)を実施(7月14日)

・テーマに沿った指導実践を行い、互いにディスカッション。初の試みだったが参加者にとっては有益だった。

◆リサイクルプロジェクトは「靴磨き講習会」を実施(12月23日、2月24日)

・靴磨き講習会の全クラブ参加を目指したが、かなわなかった。ただし各講習会は盛況であった。

◆医科学活動推進部は、2011年度末にテーピング講習会と栄養講習会を(3月11日)、2012年度末にテーピング講習会を実施(2月24日)

前期 37チーム／1部、2部制

1部優勝:郁文館A

4～7月 新規加盟:なし

1部8チーム×2リーグ(並列)、2部7チーム×3リーグ。いずれも各リーグ1位同士がチャンピオンシップ

三菱養和は高円宮杯U-18プレミアリーグEAST(10チーム中8位。残留)→通年

足立学園はT2(Bブロック10チーム中8位。残留)→4～10月&順位決定戦

本郷・都足立・都豊島はT3(Aブロック8チーム中、本郷3位、都足立4位、都豊島5位で残留)→4～9月&順位決定戦

地区トップリーグ(11チーム×2ブロック)は三菱養和Bが7位、学習院が15位で残留→4～8月末&順位決定戦

後期 38チーム／1部、2部制

1部優勝:都江北A

9～12月 新規加盟:なし

1部8チーム×2リーグ(上下)、2部7チーム×2+8チーム×1。2部は各リーグ1位同士がチャンピオンシップ

・1部は上位を「プレミアリーグ」、下位を「プリンスリーグ」とし、プレミアリーグ1位の都江北Aが2013年度地区トップリーグへの昇格権を得た

・岸卓巨事務局長が青年海外協力隊員として活動するケニアでの“Malindi Medical and Environmental Day”に後援

## 2013 歴史を踏まえて歴史を築こう！

◆DUOリーグの大改革

前年度の議論を踏まえ、昇降格のあるリーグ戦は前期のみとし、後期は会場の大きさに合わせた「フリーサイズフットボール」のワンデー大会の勝者が最終日にチャンピオンシップを行う形となった。前期リーグは、DUOリーグ未加盟であってもFA加盟であれば参加資格を持つ。DUOの理念に賛同し加盟するかどうかを、年度初めに改めて問うた。

◆各担当による講習会が定着

・審判部 … 4級審判資格取得講習会(3/9城西)

・技術部 … 技術講習会「狭いところでのトレーニング」(3/23豊島学院)。

このほか「ナイキサッカークリニック」(7/23所沢航空公園)に共催

・医科学活動推進部 … 栄養講習会(7/15筑波大附)およびテーピング講習会(3/2筑波大附)

・リサイクルプロジェクト … 「コインケースづくり」講習会(3/2巣鴨)

前期 39チーム／1部、2部制

1部優勝:郁文館A

4～7月 新規加盟:都足立西、都千早

退会:都豊島(ただし前期リーグは参加)

1部8チーム×2リーグ(並列)、2部8チーム×2+7チーム。いずれも各リーグ1位同士がチャンピオンシップ

・三菱養和は高円宮杯U-18プレミアリーグEAST(10チーム中7位。残留)

・足立学園はT2(10チーム×2ブロック。ブロック9位でT3に降格)

・本郷・都足立はT3(8チーム×3ブロック。両チームともブロック最下位でT4に降格)

・三菱養和B・学習院は地区トップリーグ(8チーム×3ブロック。その後順位決定リーグ。三菱養和Bは優勝でT4に昇格。学習院は20位で残留)

後期 「フリーサイズフットボール」

優勝:午前2時のオーバーラップ(本郷)

9～12月 新規加盟:なし

会場の大きさに合わせた「フリーサイズフットボール」のワンデー大会を、各会場で5回開催(計画は9回)。最終日は、各大会優勝チーム+αによるチャンピオンシップを8対8の半面マッチで実施(於筑波大附)

## 2014 DUOリーグの代替わり-歴史をつなごう！

### ◆2014年度をもってチェアマン交替

1996年度のリーグ創設以来チェアマンを務めていた中塚義実(筑波大附)から、2014年12月21日のDUO会議で岩野英明(本郷)に交替。新チェアマンのもと、人事や制度の見直しを進めることとなった。

### ◆事務局機能の委託

これまでDUOリーグ事務局は岸卓巨氏をはじめとする個人に依頼していたが、2014年度中にNPO法人化した「特定非営利活動法人サロン2002(中塚義実理事長)」へ委託する。またリサイクルプロジェクト(スキンプロジェクト)も同法人の主催で実施しDUOリーグは共催または協力の形で展開していくこととなった。

前期 4～7月	39チーム／1部、2部制 新規加盟:なし 1部8チーム×2リーグ(並列)、2部8チーム×2+7チーム。同順位同士の順位決定戦を8月末までに行う	1部優勝:日大豊山A 注)都豊島は未加盟だが前期リーグには参加
	・高円宮杯U-18プレミアリーグEAST(10チーム)に三菱養和(10位。プリンスリーグ関東に降格) ・T3(20チーム)に足立学園(19位でT4に降格) ・T4(16チーム)に三菱養和B(3位でT3に昇格)、都豊島(10位で残留)、本郷(11位で残留)、都足立(16位で地区TLに降格) ・地区トップリーグ(31チーム)に豊島学院A(16位で残留)、京華(23位で残留)、学習院(30位で降格)	
後期 9～12月	「フリーサイズフットボール」 新規加盟:なし	優勝:足立学園
	会場の大きさに合わせた「フリーサイズフットボール」のワンデー大会を、各会場で6回開催。 最終日は、各大会優勝チーム+αによるチャンピオンシップを8対8の半面マッチで実施(於筑波大附)	

## 2015 DUOリーグの次なる一歩へ歩を進めよう！

### ◆2015年度よりチェアマン交替

### ◆事務局機能の業務委託契約の締結

2016年2月にNPO法人化した「特定非営利活動法人サロン2002(中塚義実理事長)」へ委託するための契約を締結。今まで同様だが、明文化した形で多方面にわたってサロン2002の力を借りることとなる。

### ◆2016年度に3部リーグとして開催するための準備年度

2015年の1部2ブロック、2部3ブロックから2016年度は1部1ブロック、2部2ブロック、3部2ブロックの3部制となるため、入れ替えなどがシビアとなる年度となった。

前期 4～7月	43チーム／1部、2部制 新規加盟:豊島・貞静学園・淵江・足立新田 1部8チーム×2リーグ(並列)、2部9チーム×3。同順位同士の順位決定戦を8月末までに行う。	1部優勝:学習院A
	・高円宮杯U-18プリンスリーグ関東(10チーム)に三菱養和(8位。プリンスリーグ関東残留) ・T3(20チーム)に三菱養和B(3位で残留) ・T4(16チーム)に都豊島(6位で残留)、本郷(7位で残留)、足立学園(14位で地区TLに降格) ・地区トップリーグ(32チーム)に日大豊山A(1位でT4に昇格)、豊島学院A(27位でDUOリーグに降格)、京華(31位でDUOリーグに降格)、都足立(32位でDUOリーグに降格)	
後期 9～12月	「フリーサイズフットボール」 新規加盟:なし	優勝:G本郷
	会場の大きさに合わせた「フリーサイズフットボール」のワンデー大会を、各会場で4回開催。 最終日は、各大会優勝チーム+αによるチャンピオンシップを8対8の半面マッチで実施(於筑波大附)	